

養老線地域公共交通再生協議会議事概要

項目	内容
会議名	平成28年度養老線地域公共交通再生協議会第4回会議
と き	平成29年 2月20日 (月) 10:00～11:20
と ころ	ロワジールホテル大垣 3階 ソーレA
出席者	委 員 32名 (別紙のとおり) オブザーバー 2名 事務局 6名 (コンサルタント1名を含む。) 傍聴者等 3名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 地域公共交通網形成計画 (骨子) について (2) 今後の日程について 4 そ の 他 5 閉 会

項目	内容
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ ○養老線地域公共交通再生協議会 会長 大垣市長 小川 敏</p> <p>3 議 題 (1) 地域公共交通網形成計画（骨子）について ○事務局が【資料No.1】の説明 ○主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網計画には、目標を達成するために必要な事業について、誰が、どのような事業を、いつまでに実施するかを記載する必要がある。 ・全国的に見ても少ない事例。沿線市町だけでなく、中部運輸局としてもそうだが、岐阜県、三重県のサポートもお願いしたい。 ・再構築事業の期間は10年に限られているので、10年後には養老線が自立若しくは存続する形になっていないといけない。そのことを念頭に置いて議論いただきたい。 ・延命措置や、問題の先送りということではなく、地域の方に期待を持たせる計画であるべき。養老線を支える、支え続けるというのは大変なことだと思うので、それよりも、育むことが大切だと思う。 ・将来にわたって居住しやすい地域になるような計画が見えてきた。ただし、取組みを具体的にどうするかが課題。 ・各市町が「よその市町がやってくれれば。」という意識ではまずい。他の自治体まかせでは、全体の計画が骨抜きになってしまうおそれがある。行政がやれば住民もついていくと思う。 ・直近の課題としては、人口減少よりも高齢化にスポットを当ててはどうか。 ・自治体、事業者だけでなく、地域住民の意識が変わって、積極的に公共交通を利用してもらえるような施策を加えてほしい。 ・各市町から、自治会に対しての希望や、具体的に意見を出して欲しいと照会をいただければ、自治会としても協力をさせていただき、夢ある養老鉄道になるよう考えていきたい。 ・計画に記載がないから事業を実施しないというのではなく、記載してある事業以外にも、できることを前向きに検討いただきたい。

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線企業からの支援については今後の課題。また、企業活動の中で、どのように養老鉄道を育むかを考える必要がある。 ・子どもたちが通いたいと思える高校にしていくことが、養老線の利用促進につながると考えている。要請があれば、高校としても前向きに検討していきたい。 ・将来的には定期利用者の減少が見込まれる。定期外の利用者を増やすことが必要になっていくと思う。沿線住民と一体になった取り組みを実施していきたい。 ・沿線住民の需要喚起につながってほしい。路線の見直しは、単一の事業者だけではなかなかやりにくいので、今回はそれができるチャンスだと思っている。 ・情報発信という点では協力をさせていただきたい。 ・大垣市の計画、沿線7市町のみでなく、この協議会全員が責任を負うべき計画であることを改めてご認識いただきたい。事務局やコンサルからの提案に対して受身になるのではなく、積極的な提案をお願いしたい。 ・パークアンドライド駐車場は、他の網計画の事例を見ても有効ということが考えられる。駅前の駐車場の整備は難しいということもあるが、駅前から少し離れた土地であっても、敷地があつて魅力的な駐車場が整備できれば、郊外の大規模小売店舗のように、車でそこに来てもらうということも可能ではないか。 ・実現が難しいかもしれないが、急行列車を導入してはどうか。 ・アクションプログラムの中に大学も入れてはどうか。 ・大垣で盛んなIT企業を活用しない手はない。公共交通のIT化は遅れていると思うので、その観点から施策を進めてはどうか。 ・自治体内の縦割りを乗り越えて、他の部署と協力して、総合的な検討ができるとよい。総合的に取り組んだ事例が、成功事例だと思う。 ・協議会のメンバーから、次回の部会前に「養老鉄道に対して自らができること」を提案していただいてはどうか。 <p>(2) 今後の日程について</p> <p>○事務局が【資料No.2】の説明</p>

項目	内容
	<p>○次回は、もう少し幹事会から本会議までの時間に余裕を持たせた日程にしてはどうか。→ そのように調整する。(事務局)</p> <p>4 その他</p> <p>○事務局からの事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老鉄道が「聲の形」×「養老鉄道」グッズである、ポストカード、クリアファイルを作成。他にも養老鉄道グッズがあり、順次、充実をはかっているのので、積極的な購入や活用をお願いしたい。 <p>5 閉 会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・養老線交通圏地域公共交通網形成計画（案）【資料No.1】 ・養老線に関する今後の日程等について【資料No.2】

平成28年度養老線地域公共交通再生協議会第4回会議出席者名簿

1 委員等

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考
1	地域公共交通	大垣市長	小川 敏	会長
2	網形成計画を 作成しようと する地方公共 団体	桑名市長	伊藤 徳 宇	副会長
3		海津市長	松永 清 彦	監事
4		養老町長	大橋 孝	
5		神戸町長	谷村 成 基	
6		揖斐川町長 (企画部長)	富田 和 弘 (山内健志)	監事 代理出席
7		池田町長 (副町長)	岡崎 和 夫 (牛嶋勝一)	代理出席
8		公共交通事業者等(地域公	近畿日本鉄道(株)取締役社長(執行役員 鉄道本部企画統括部副統括部長)	和田林 道 宜 (安東隆昭)
9	共交通網形成	養老鉄道(株)代表取締役社長	都 司 尚	
10	計画に定めよ うとする事業 を実施すると 見込まれる 者)	(一社)養老線管理機構代表理事	広瀬 幹 雄	
11		名阪近鉄バス(株)取締役社長	西村 昌 之	
12		三重交通(株)代表取締役社長 (桑名営業所所長)	雲井 敬 (西山明寛)	代理出席
13		スイトトラベル(株)代表取締役社長 (自家用管理課長)	高木 二 美 (西川勝則)	代理出席
14		岐阜県タクシー協会西濃支部長	市村 隆 憲	欠席
15		三重県タクシー協会北勢支部長 (三重近鉄タクシー(株)事業部長)	大西 史 人 (刀根 勝)	代理出席
16		道路管理者	岐阜国道事務所大垣維持出張所長	可 児 誠
17		三重河川国道事務所四日市国道維持 出張所長	三井 盛 夫	
18		岐阜県大垣土木事務所長	冠 者 信 男	
19		三重県桑名建設事務所長	真 弓 明 光	
20	公安委員会	岐阜県警察海津警察署長	長尾 文 則	欠席
21		岐阜県警察養老警察署長 (交通課長)	西谷 好 信 (今尾和浩)	代理出席

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考
22	公安委員会	岐阜県警察大垣警察署長 (交通第一課長)	宗 宮 英 雄 (谷口 淳)	代理出席
23		岐阜県警察揖斐警察署長	内 藤 典 夫	欠 席
24		三重県警察桑名警察署長 (交通官)	松 本 昌 章 (植松重光)	代理出席
25	地域公共交通 の利用者	大垣市連合自治会連絡協議会会長	名 和 哲 彦	
26		岐阜県立大垣南高等学校校長	大 橋 則 雄	
27		三重県立桑名北高等学校校長	辻 康 之	
28	学識経験者	岐阜経済大学副学長	竹 内 治 彦	
29		名城大学理工学部社会基盤デザイン 工学科教授	松 本 幸 正	
30	その他会長が 必要と認める 者	大垣商工会議所会頭	堤 俊 彦	
31		西濃ブロック商工会協議会会長 (事務局長)	斉 藤 滋 信 (田中宏和)	代理出席
32		桑名商工会議所会頭	中 澤 康 哉	欠 席
33		国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸専門官	日比野 和 仁	
34		国土交通省中部運輸局三重運輸支局 首席運輸専門官	小 出 和 仁	
35		岐阜県都市公園整備局長	足 達 正 明	
36		三重県地域連携部副部長	辻 日出夫	
37	オブザーバー	国土交通省中部運輸局交通政策部交 通企画課長	伊 藤 光 明	
38		国土交通省中部運輸局鉄道部計画課 長	加 藤 弘 彦	

2 コンサルタント

No.	役職、就任依頼機関等	氏名	備考
1	(株)国際開発コンサルタンツ名古屋支店プロジェクト マネージャー	小 林 良 治	

※ () 内は、代理出席者の役職及び氏名